



国語辞典の使い方 ① 〈見出し語〉

なまえ

国語辞典に太い字でならんでいる言葉を、
「見出し語」といいます。

次のれいのように形のかわる言葉は、
言い切りの形でならんでいます。



〈れい〉 国語辞典では、かくの形が、見出し語です。

かかない
かきます
かく
かくもの
かけば
かこう

しろかろう
しろかった
しろくて
しろい
しろければ

しずかだろう
しずかだった
しずかで
しずかに
しずか
しずかな
しずかならば

見出し語の形になっている言葉に、○をつけましょう。

①
() とばない
() とびます
() とぶ

②
() あまくて
() あまい
() あまければ

③
() きれいな
() きれいで
() きれい

④
() はしる
() はしります
() はしれば



国語辞典の使い方②へならび方①

なまえ

国語辞典の見出し語は、五十音順にならんでいます。五十音表でたしかめてみましょう。



〈れい〉

あ
る
く

か
き

た
つ

は
な
す

や
ま

〈れい〉

う
ま

せ
か
い

ひ
か
る

も
り

わ
し

五十音表

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
やゆよ
らりるれろ
わをん

国語辞典で先に出ているほうの見出し語に、○をつけましょう。

（「いぬ」は、漢字での書きあらわし方です。）

①

あじ【味】
いぬ【犬】

②

てじな【手品】
さむい【寒い】

③

ほし【星】
みかん

④

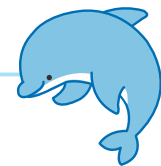
むし【虫】
はしる【走る】



国語辞典の使い方③へならび方

なまえ

見出し語の一字目が同じときは
二文字目を見ましょう。二文字目も
同じときは、三文字目を見ましょう。



〈一字目が同じ〉

あし ← あす ← あな

〈三文字目まで同じ〉

なかま ← なかみ ← なかよし

五十音表

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
やゆよ
らりるれろ
わをん

次の見出し語が、国語辞典に出てくる順になるように、
(一)にーる3を書きましよう。(二)は、漢字での書きあらわし方です。

①
(いぬ) 【犬】
(いろ) 【色】
(いく) 【行く】

②
(ふとい) 【太い】
(ふね) 【船】
(ふゆ) 【冬】

③
(ほん) 【本】
(ほんとう) 【本当】
(ほんき) 【本気】

④
(さくらんぼ) 【作品】
(さくら) 【作品】
(さくひん) 【作品】



国語辞典の使い方④へならび方③

なまえ

見出し語は、ふつう次の順でならんでいます。

- ・清音（「は・ひ・ふ・へ・ほ」など）
- ・**だ**く音（「ば・び・ぶ・べ・ぼ」など）
- ・**半**だく音（「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ」）

〈れい〉

は
バ
パ
す
ス
ス

ホ
ボ
ポ
ール
ール
ール



次の見出し語が、国語辞典に出てくる順になるように、
（ ）にーるるを書きましょう。（ ）は、漢字での書きあらわし方です。

①
（ ）
（ ）
（ ）
ふだ
ぶた
ふた

②
（ ）
（ ）
（ ）
かく【学】
かぐ【家具】
かく【書く】

③
（ ）
（ ）
（ ）
ビザ
ひざ
ピザ

④
（ ）
（ ）
（ ）
ほろほろ
ぽろぽろ
ぼろぼろ



国語辞典の使い方⑤へならび方④

なまえ

かたかなののばす音は、声に出した
ときの「あ・い・う・え・お」に
おきかえて、五十音順にならんでいます。



五十音表

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
やゆよ
らりるれろ
わをん

〈れい〉カード

かあど

ゲーム

げえむ

シール

しいる

ノート

のおと

プール

ふうる

次の見出し語が、国語辞典に出てくる順になるように、
（ ）にーう3を書きましよう。（ ）は、漢字での書きあらわし方です。

①

カード

かお【顔】

かい【貝】

②

シール

しあわせ【幸せ】

しか

③

けいと【毛糸】

ケーキ

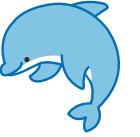
けむり

④

ゴール

こうさく【工作】

コアラ



国語辞典の使い方 ⑥ 〈まとめ〉

なまえ

① 次の言葉を、国語辞典の見出し語にのっている形で書きましょう。

〈れい〉かきます【書きます】↓〈かく〉

① あるこう【歩こう】↓

② ながく【長く】↓

③ もった【持った】↓

② 次の見出し語が、国語辞典に出てくる順になるように、
〈 〉にーる3を書きましよう。

①

まめ こめ すいか

②

ふとる ふゆ ふとん

③

ボール ほうき ポール

④

しゃもじ ジュース しゃかい